

# 慈光寺

季号 54号  
平成29年3月 行  
春第54号  
平成29年3月 行  
発

「法華経を信ずるは冬のごとし。冬は必ず春となる。いまだ昔より聞かず見ず、冬の秋と返れる事を。」

この御遺文は、日蓮聖人が妙一尼へ出されたお手紙の一節です。

法華経を信じる人はあたかも冬のようなものである。しかし、冬はどんなに長くても必ず春を迎える。決して冬から秋にはもどらないとおっしゃっておられます。どんなつらい事も悩みも頑張っていれば、必ず光明がさしてくる。法華経と信じる事が大事であると私達に伝えておられます。

今年も春がやってきました。小さな芽が顔を出して生きよう、大きな芽が顔を出して生きています。

私達は日々の忙しさにかまけて、

ふと自分自身を見失う事があります。お彼岸は私達が心をきれいにして、日頃の悩みや苦しみの世界から理想の世界に立ちかえる大切な機会です。人にほどこす心(布施)行いを反省する(持戒)困難にたえる(忍辱)まじめに努力する(精神)心にやすらぎを与える(禅定)仏さまの知恵を得る(智慧)この六波羅蜜を行うことで私達は「人」として生きる道が開けます。

当たり前は当たり前でなく奇跡の連続です。

今朝起きて何度感謝出来たでしょうか。生まれて来た事も、生きていくことも、目が見えるのも、音が聞こえるのも、手足が動くのも、当たり前ですが当たり前ではなく、人はそれを失った時はじめて気づかされるのです。

お彼岸にお墓参りをする、線香を供える、お団子をお供えするだけでなく、仏の心を浸透させること

が幸せの道の第一歩です。

春のお彼岸はいつも私達をご先祖に守られていることに感謝し報恩の気持ち、そして、それを次世代に伝えて行くことです。春秋の二季に彼岸があり、しかも中日(昼と夜が同じ日)があり、その行事が二千年の歴史を持って伝えられてきています。自分の心を立て直すけじめの時と考えれば、お彼岸は背を正して出直す記念日。さあ今年も一年頑張りましょう。

どこかで必ず仏様はみえています。

(住職)



# お彼岸

お彼岸には先祖供養のお塔婆をお供えしましょう。

慈光寺では塔婆回向を申し受けております。「暑々寒々も彼岸まで」とか昔からの人はよくいったもので、厳しい冬も過ぎ日増しに日が伸びて暖かくなると「春の彼岸」がやってきます。お彼岸の一週間は、先祖を敬い、亡き人に供養を捧げると共に善根を積み、仏道に精進する大切な日々です。

仏道修行の一週間						
17日	布施	思いやりの心、奉仕する生活				
18日	持戒	決まりを守る、生活を正す				
19日	忍辱	苦しみに耐え、正しい道を開く				
20日	お中日	〔〕先祖供養、お題目の修行				
21日	精進	ためまめ努力、続ける心				
22日	禅定	心静かな落ち着き、集中する心				
23日	智慧	仏道にめざめ、正しい教えを学ぶ				

## 【卒塔婆供養】

お塔婆をご供養される方は、お早めにお寺の方へご連絡下さい。

尚、三月七日が締め切りでございますので、特に変更のある方は、お早めにご連絡をお願い申し上げます。

## 【平成二十九年新春祝禱会】

一月元旦・二日・三日

「新春、今年をどう生きるか」新しい年を迎えて皆様と共に海中出現妙見大菩薩様の前で、改なる誓いを致しました。お正月は地元の氏神様と共に菩提寺にお参りする、新年のご挨拶をする風習が昨今だんと薄れていきます。末法の世だからこそ、私達は日本人として受け継がれている事を実践して参りましょう。



## 【新春妙見宮大祭】

一月十五日(日)

妙見様のご信者様と顔を合わせ、家族的に皆様の近況を伺い、沢山の「福」をお渡ししました。当山もお参りする方の年齢が高くなり、お参りしたくてもお参り出来ない方が増えてきました。ご希望があればお寺でご祈禱したお札を持って参ります。お声をかけて下さい。

## 【節分星祭】

二月三日(金)

午後二時より八時まで

妙見大菩薩ご寶前にて

“福は内” “福は内” 新しい試みをした節分ですが、なかなか難しく “テンテコ舞” になりました。「笑」で「鬼」は払いましたが、来年は伝統を守り、楽しみ100%で今からスタッフ一同作戦を練っています。来年もお楽しみ!!

(初めてお参りした吉野仏壇さんの声)

「お参りさせてもらって良かった!!春が商売繁盛だそうです。気分もシャキッとしました」

と喜びの声をお聞かせ頂きました)



# 行事案内

## ◆春季彼岸大法要

平成二十九年三月十八日(土)

午後二時始め

・法要

・卒塔婆供養

・米寿の御祝



今年二十九年に米寿を迎える方は是非お参り下さい。

お祝いの心を込めて記念品と共に  
お祝いします。

みんなでお祝します。お楽しみに！

お願い

檀家さんで今年八十八歳をお迎えになる方、お寺の方へご連絡を  
お願いいたします。

・法話

湊圓山 本住寺

住職 山口顕辰 上人

「いのちに合掌 宗祖御一代記」

龍遠上人の先輩であり、常任布教師でクリ弁の能手。日蓮宗門の中で随一の語りです。現在は池上本門寺の若き僧侶の指導を行っておられます。次はいつご来寺頂けるか判りません。お聴き逃しになりませんように。是非お参り下さい。

## ◆花まつり

平成二十九年四月八日(土)

午後二時より

今年の花まつりはお釈迦様に甘茶をかけ、お経をあげ茶話会をしたいと考えています。

檀信徒の皆様の中で。歌や楽器や踊りなど特技の有る方、ご披露下さい。

楽しい時間になりますように。  
(南無)

ご連絡をお電話でお願いします。

TEL 082-271-4665

慈光寺

どなたでも参加できます。

無料です。



## お彼岸のお経のお知らせ

今年、三月十七日から二十三日の間にお参りさせて頂く予定です。

現在ご希望されておられますご家庭には、ハガキにてお日にちをご案内させて頂きます。ご都合が悪いようでしたら、ご連絡を下さいませ。ご相談させて頂きます。

尚、時間につきましては、前後することも有ります。ご都合が有る方は時間約束を必ずお知らせ下さい。

又、今年からお参りをご希望されるご家庭がございましたら、お寺の方へご連絡くださいませ。よろしくお願いたします。

## ☆合同供養

三月二十日(月曜・祝日)

午前十一時より

お寺で供養をご希望の方は合同供養を致します。他の日時をご希望の方はご相談下さい。個別の法要もお受けしています。

TEL 082-271-4665

FAX 082-275-2216

慈光寺

# お知らせ



おかげさまで念願だった。梵鐘のお話が少しずつ進んでいます。先般二月のはじめに高岡へ大畠総代長、島田副総代、川崎総代と四名で行って参りました。

山梨の久成寺村上上人のご紹介でおりんの山口久乗さんと共に老子製作所に行き、お話をして参りました。今、お見積りを待っている状態です。

今年の暮れには除夜の鐘リレーに参加出来るよう努力して参りたいと思います。又、改めて報告をさせていただきます。

合掌



# ご報告

私事ですが、いつも住職のわがままや無理をお聞きいただき、助けて下さり本当にありがとうございます。おかげさまで、平成二十八年十二月二十七日をもって大僧都に僧階をあげ認証されました。白の本衣に赤の袈裟を掛けられるようになりました。呉の養運寺の長谷川泰監上人の七条と、師父龍淵上人、龍遠上人が掛けていた五条を掛けています。住職として少しでもお役に立てるよう精進して参ります。今後共よろしくお願い申し上げます。

# 募集

★墓地・納骨堂・慈しみの墓を求めておられる方、ご相談に応じます。

★月回向ご希望の方で時間が取れないとあきらめておられる方、お寺での供養を受け付けています。お電話頂ければご来寺の際に回向申し上げます。

★石栗さんが引退してお手伝いの方がいなくて困っています。友田さんや池田さんと一緒にお寺で働いて下さる方、大募集です。どなたかいらっしゃいましたらお声をかけて下さい。お願いいたします。ご紹介もよろしく願います。

# 水場の使用について

環境整備にご協力ください。

☆水場の使用の整理整頓をお願いいたします。

☆バイク、自転車の乗り入れは、境内セメントのところに止めてください。

☆花のゴミはなるべく小さくして袋へお入れください。よろしくお願ひ致します。

☆飲み物や食品のお供はお墓にお供えされた後、必ずお持ち帰り下さい。

## お墓のごとは

お墓の建替え、修繕・墓石のご相談は  
・杉田石材店様 (草津慈光寺より百廿先)  
事務所 電話082-271-0726  
・今田石材様  
西区中広町 丁目 千九十一  
事務所 電話082-23271813

## お仏壇のごとは

仏壇・仏具・修理などのご相談は  
・吉野ふくだん店様  
安芸郡府中町大通 丁目 十四一六  
電話0822-2822-1543  
・三世仏壇様 (平安祭典観音)  
広島市西区南観音八丁目 一三五  
電話0822-297-6127



普門山

慈光寺

〒733-0861  
広島県広島市西区草津東3丁目7-25  
TEL: 082-271-4665 H P: <http://www.jikouji.com>  
FAX: 082-275-2216 mail: [info@jikouji.com](mailto:info@jikouji.com)